

# まじら

第11号

東近江の  
いとこ  
いいひと  
見つける本

# まんなか こども



まぶしい笑顔を守りたいから  
みんなで手をつなぎ  
がんばる大人たちを紹介します。

## まんなか

第11号



- 1 …… 特集 こどもまんなか
- 2 …… 八日市おかえり食堂
- 4 …… さまざまな機関が連携して こども・家庭をサポートできるように
- 6 …… こどもまんなか座談会
- 10 …… 夏休みに最高の思い出を 東近江市サマースクール事業
- 12 …… 1日限りの市民の村 わくわくこらぼ村
- 13 …… こどもといっしょに やさしいおやつ
- 16 …… 学校でも家でもない 私たちの居場所
- 18 …… FIKA みんなで作ったみんなのカフェ
- 22 …… 街で出会った若者に 突撃インタビュー！
- 24 …… スポーツを通して十人十色の喜び・幸せを
- 27 …… 若者の居場所 OMUSUBI
- 30 …… 公園アニマルみーつけた！
- 32 …… 喫茶店探訪 in 東近江
- 34 …… とっておきの家具を探しに
- 38 …… 太郎坊チャレンジに挑戦！
- 40 …… 観峰館ってどんなところ？
- 42 …… Deep沖野を巡る
- 48 …… あいとういちごがクラフトビールに恋をした！
- 50 …… 東近江 MAP



高校生も手伝ってくれるようになりました



子どもたちも大喜びの「おかえりNight」のお菓子



フードパントリーの食事



おかえりNight

おかえり

# 八日市 おかえり食堂

子どもたちに美味しいご飯と、安心できる居場所を。

ごとに参加者は増え、子どもから高齢者まで、様々な人が訪れるようになりました。

活動を続ける中で、菅谷さんは多くの声に出会いました。「障がいのある子どもと一緒に食事ができる場所があったらいいのに」「子どもが学校に行きづらくなった」「地域とつながりが必要としているお家がある」。そんな声を受け、障がいのある子どもたちが気軽に訪れることができる『おかえりNight<sup>ナイト</sup>』や、学校に行きづらい子どもやその家族、ひきこもりの若者などのための平日の居場所『おかえりプラス』などの取組が始まりました。さらに、必要なお家へ応援品のお届けなどを行う宅食やフードパントリーも実施しています。

子どもを取り巻く環境は家庭ごとに様々で、それぞれに違った事情が



八日市おかえり食堂

八日市町12-12 (太子ホール)

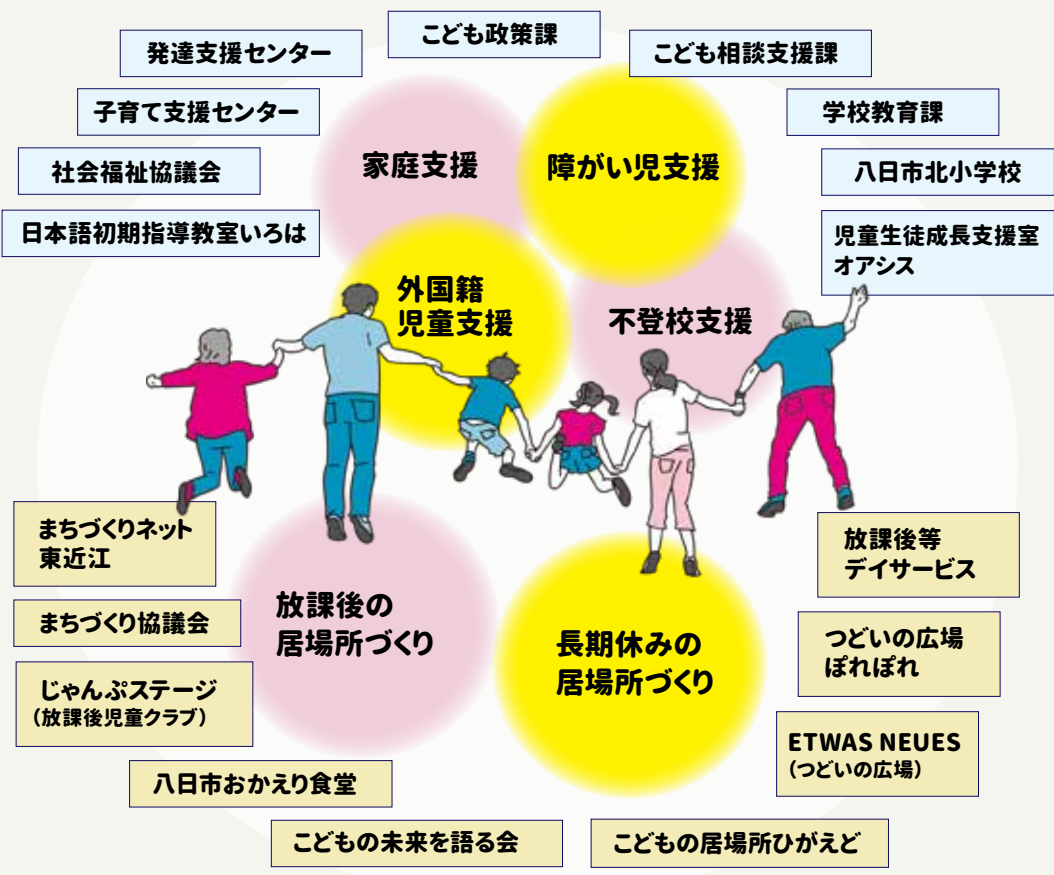
<https://youkaitiokaerisyokudou.amebaownd.com/>

[https://www.facebook.com/youkaichi.okaeri/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/youkaichi.okaeri/?locale=ja_JP)

あります。ほんの少しの支えが、誰かの助けになることもあるかもしれません。無理のない形で、できることを重ねながら、「少しでも安心して暮らせる人が増えてほしい」。そんな思いを胸に菅谷さんが形にした「八日市おかえり食堂」は、これからも地域に寄り添った活動を続けていきます。

東近江市で初の子ども食堂が、「八日市おかえり食堂」です。八日市おかえり食堂の立ち上げのきっかけや現在の活動について、代表の菅谷寛子<sup>すがや かんこ</sup>さんにお話をうかがいました。

菅谷さんが子ども食堂に関心を持ったきっかけは、テレビで見た特集番組です。今では広く知られるようになった「子ども食堂」ですが、当時はまだ認知度も低く、地域ではほとんど知られていませんでした。画面の中には、様々な事情によりひとりで食事をせざるを得ない子どもたちに、地域の人が声をかけ、みんなで食事をする様子が映されていました。「いつかこんな小さな居場所を自分でも作りたいな」。ふと芽生えたそんな気持ちに動かされ、2016年からスタートした八日市おかえり食堂。最初は太子ホールで月に1回の開催から始めました。回を重ねる



**八日市北小学校区で広がる子どもサポートの輪**

令和7年度は、まず八日市北小学校区をモデル地区として取組を開始。小学校区内の様々な団体が集まり、自分たちが行っている取組について話をしました。そして、それぞれが担っている役割や関係性を整理しました。

次に「困りごとに対し、みんなが連携すれば、どんなことができるか」を話し合いました。複数の困りごとが重なると一つの団体やグループだけでは十分に対応できないケースもありましたが、みんなで考えることにより、個々の活動ではできなかった様々な課題解決の方法を見つけることができました。また、現在の取組だけでは十分に対応できないケースの場合は、「新たにどんな取組を立ち上げたらよいか」意見を交わしました。

子どもをまんなかに、みんなが手をつなぎ大きな輪を作る活動が、これから始まります。

**さまざまな機関が連携して  
子ども・家庭をサポートできるように**

**「子どもの居場所等連携体制検討協議会の取組」**



令和7年度は、八日市北小学校区をモデル地区として、小学校、スクールソーシャルワーカー、東近江市社会福祉協議会、子ども食堂の関係者などが集まり、話し合いを行いました。

学校にうまく馴染めなかったり、障がいがあったり、あるいは家庭の事情や言葉の壁のせいで、生きづらさを抱える子どもたちがいます。そして市内には、そんな彼らを支えようとする大人たちが数多く活動しています。

学校や子ども家庭センターなどの行政機関、子ども食堂や子どもの居場所づくりに取り組むボランティアの皆さん。日頃はそれぞれの場所で活動していますが、サポートすることも私たちや家庭が重なっていることもあります。

官民の枠を超えてみんながつながり、時に活動を共にし、情報を共有すれば、早期に問題を発見できるのではないかと。そうすることで、子どもたちを支える力がもっと大きくなるのではないかと。そんな思いから生まれたのが、「子どもの居場所等連携体制検討協議会」です。

は信頼関係を築くことが大切ですよ。また、官民が連携するには、まずは信頼関係を築くことが大切ですよ。また、官民が連携するには、まずは信頼関係を築くことが大切ですよ。

また、官民が連携するには、まずは信頼関係を築くことが大切ですよ。また、官民が連携するには、まずは信頼関係を築くことが大切ですよ。

東近江市子ども相談支援課



まつうら まさえ こばやし あゆ  
松浦 正江さん 小林 愛友さん

子ども相談支援課では、子どもやご家庭からの悩みの相談を受け付けたり、必要に応じて家庭訪問をしたりするなどのサポートを行っています。

子どもの特性を理解しながら子育てすることは大変です。地域の交流の場に参加しながら地域の皆さんの温かい眼差しの中で子どもを育てることが大切です。気になることがあれば一人で悩まず気軽に相談してください。

☎ 0748-24-5663 IP 050-5802-3275

「こどもの居場所等連携体制検討協議会」では、行政、学校、地域の関係者が集い、こどもの支援の方法について話し合いをしました。どのような感想をお持ちでしょうか。

**小林** 地域でどのような方が活動しているのか、あまり分かっていませんでした。行政だけでは支援が難しいケースもあります。東近江市社会福祉協議会や地域の皆さんの思いや力を知ることができ、相談して対応をすすめてみようと思いました。

**松浦** 東近江市社会福祉協議会は、行政と地域の役割をよく理解されているので、うまく調整役として入っていただくと連携がスムーズだと感じました。

で、今回の検討協議会のような場は大切だと思いました。

**大柴** わたしたちは、こどもを取り巻く環境を整えることによる問題解決を目指しています。学校と地域をつなぐことも、こどもの環境を整えることになります。今回の会議でわたしたちの仕事の重要性を改めて認識しましたし、熱い思いを持ってこどもたちのために動いてくださっている地域の方々との出会うことができました。まだまだスクールソーシャルワーカーが地域とともにできることはあるなど感じています。

**菅谷** 長年、公の機関とうまく連携できればいいなと思っていましたので、今回の会議は本当に画期的なものと感じています。

行政や学校の方が今回の会議についてどのように感じられたのか気になっていましたが、皆さんポジティブ



東近江市子ども相談支援課  
小林 愛友さん

八日市おかえり食堂  
菅谷 寛子さん

東近江市子ども相談支援課  
松浦 正江さん

スクールソーシャルワーカー  
大柴 衣実さん

こどもの笑顔をみんなでつなぐ

「こどもの居場所等連携体制検討協議会」では、官民の枠を超えた連携の在り方について話し合いをしました。

こどもをまんなかに、願いはひとつ。すべてのこどもたちが幸せに生きること。日々学校に居るこどもたちと向き合う行政機関には、専門的見地からこどもと保護者に関わって相談や助言ができる専門職がいます。それに対し民間団体は、地域でこどもの日常や家庭の様子を見守り、必要な支援をいち早く提供するために柔軟に動けるといふ強みがあります。話し合いの中で、官民相互に情報交換を行い、互いの理解を深め、それぞれの強みを生かせる連携の支援体制を整えることの大切さと可能性が示されました。

検討協議会の委員を務められた皆さんに、話し合いから見えたこと、今後の展望などについてお話を伺いました。

ブにとらえていただいでいてすごく嬉しいです。今回は八日市北小学校区を舞台に話し合われましたが、このような場がほかの地区にも広がることを願います。

**松浦** 検討協議会で課題とそれに対する地区内の支援の取組が可視化されました。どこにどのような支援があるのかが分かると大変連携しやすいと思いました。

**菅谷** お互いがどのような思いでどのようなことを行っているのかわかることは、より深い信頼関係につながりますので、本当に大切だと思います。また、民間の取組はしっかりと決まった形がない場合もあり、私たちも、困っている子どもや各家庭に合わせてできる範囲で工夫をして取り組みたいと考えています。食の配達や部屋の掃除なども、家庭ごとの困りごとに合わせて始めた取組で

期から保護者に関わる取組をしていますが、困りごとを抱えている方は地域からも孤立しているケースが多々あります。そういった方が地域から孤立しないように地域での温かい見守りが増えると思うと思います。そのような輪をつくっていくるようわたしたちも様々な団体の方に働きかけたいです。

**大桑** わたしたちは、子どもの安心安全な生活、子どもの最善の利益を守らないといけません。そのためには、まず保護者さんや家庭などの子どもを取り巻く環境が安定することが大切です。困りごとに耳を傾け、その人が何を求めているのか、その人にとって何が一番良いのかを考えないといけません。困っている人がいたら、ひとりじゃないよ、一緒に考えようね、と伝えていきたいですし、これからも地域でどんな輪をつ

す。ケースごとに柔軟に対応できる、このことは民間の大きな特徴だと思います。

これからどのような思いでそれぞれの分野で活動しようと思えますか。

**小林** 連携を深めていこうと思いますが、連携先に丸投げせず、それぞれが対象者にしっかりと向き合うことが大切だと思います。それぞれがそれぞれの活動にノリシロを持って、ノリシロが大きく重なり合って応援の輪が広がると、すごく厚みのある対応ができるのではないかと考えます。

**松浦** こどもの数は減少していますが、虐待の件数はなかなか減りません。虐待を防止するために妊娠

くれば安心安全な生活が送れるのかを考えていきたいです。

**菅谷** 松浦さんが紹介してくださったとおりこどもの数が減っているのに虐待の数は減らず、不登校の数も増えている。保護者も子どもも生きづらさを抱えているのかなと感じています。八日市おかえり食堂はこどもの居場所ですが、保護者の居場所でもあります。保護者にも利用してもらって少しでも心に余裕を持つてもらえればと思います。今回の検討協議会でできた皆さんとの信頼関係を大切に、わたしたちは私たちが地域の居場所としての役割を担い、緩やかにあなたがたく地域のこどもや保護者の笑顔を支えられるといいなと思います。

このような確かな信頼に基づくと、こどもまんなかのあなたかな輪が市内各地に広がることを願います。

## 八日市おかえり食堂

すがや ひろこ  
**菅谷 寛子**さん

東近江市ではじめて「こども食堂」を立ち上げました。障がいのある子どもたちとその家族のための『おかえりNight』や、学校に行きづらい子どもや、ひきこもりの若者などのための平日の居場所づくり『おかえりプラス』などの活動を行っています。気軽にお立ち寄りください。



## スクールソーシャルワーカー

だいらく えみ  
**大桑 衣実**さん

スクールソーシャルワーカーとは、こどもが抱える様々な困り事の解決に向けて福祉的な視点で課題を見つめ、学校と関係機関の連携体制づくりに努めながら子どもを取り巻く環境を整える専門職です。東近江市内の全ての小中学校に配置されています。



## 湖東地区まちづくり協議会

### 「夏休みのこどもの居場所事業」

湖東地区では地域の子育て世代の声にこたえて、3年前から小学生の夏休みの居場所が作られています。2025年は地域の皆さんが見守りながら、湖東コミュニティセンターを拠点として10日間実施しました。日本画教室、木工体験などの体験活動も充実しており、小学生がぐっと成長できる夏になりました。

湖東地区まちづくり協議会（湖東コミュニティセンター）  
☎ 0749-45-0950



## 一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

### 「夏休機能登川・五個荘こどもの居場所事業」

やわらぎホールを拠点として夏休み期間のお盆を除く火～金曜日の19日間に小学生の居場所が作られました。地域の皆さんがこどもの見守り員として協力しながら、能登川地区及び五個荘地区のまちづくり協議会が連携して実施。期間中は、科学実験や大道芸などの体験活動が行われました。

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会（能登川コミュニティセンター）  
IP 050-5802-2793



## 株式会社ディタデアス

### 「e2PARK 滋賀東近江 サマースクール」

能登川駅前のeスポーツ体験施設「e2PARK」。ここでのサマースクールの特徴は、なんとといってもeスポーツ体験！高性能パソコンを自由に使うことができ、プログラミングなどを楽しみながら学べます。ゆったり休憩や宿題ができるスペースもあり、こどもが自由に過ごすことができます。

株式会社ディタデアス ☎ 0748-56-1359



## にじや教室

### 「にじやのサマースクール」

普段からアート学童と称し、八日市地区でこどもの放課後の居場所を提供しているにじや教室。工作や自然観察・科学実験などたくさんの体験を通し、こどもたちは五感をフル活動させて夏休みサマースクールを楽しみました。自由な雰囲気の中でこどもたちの笑顔がはじける夏となりました。

にじや教室 ☎ 070-8943-2437



家でも学校でも学童保育所でもない場所で

# 夏休み に最高の思い出を

海にプール、花火に、お祭り…。夏休みはこどもにとって楽しいイベントがいっぱい。けれども、学校が休業になるので、平日は案外時間があつたり、退屈だつたりします。

夏休み期間に、家でも学校でも学童保育所でもない場所でこどもたちが様々な体験ができるよう、各地域で取組が行われています。東近江市も今年から「東近江市サマースクール事業」として取組のサポートを始めました。2025年の夏休みに行われた取組について紹介します。



## 一般社団法人 ぐるり

### 「夏休みこどもの居場所事業『シュクダイベイバー』」

アル・プラザ八日市4階で「つどいの広場」を運営する一般社団法人ぐるりが小学生の居場所事業を実施。みんなで食材を買い出しに行つてご飯を作る体験や、2泊3日の期間を通して「まち」を知る様々なプログラムを盛り込んだ合宿などを行いました。



#### こんなことしました

「まちの人トレカ」こどもをとりまく地域の人のイラストカードを集めるゲーム。こどもたちはドキドキしながら、まちの人にインタビューしてカードを集めて楽しみました。いろんな人を知り、触れ合うきっかけにもなりました。

一般社団法人ぐるり(ETWAS NEUES) ☎ 090-6748-5231



## こどもの居場所ひがえど

### 「Summer School 事業」

琵琶湖やおやつタウンなど市内外を会場に15日間、小学生の居場所を開催しました。八日市地区の学校だけでなく、市全体から34名のこども達が参加。自分達で運営した「こどもマルシェ」やカヌー体験、地域のお店と協力したパフェづくりなど、こどもたちの「やってみよう」が詰まった日々でした。

こどもの居場所ひがえど  
e-mail higaedo2023@gmail.com





みんなだいすき「おやつ」。子どもから大人まで、  
一緒においしく食べられる東近江のおやつを紹介します。

子どもといっしょに  
やさしいおやつ

子ども 大人も  
大集合!

1日限りの市民の村

## わくわくこらぼ村

よりよいまちづくりのため、市内で活動している団体や事業者が集い、それぞれの活動を紹介する「わくわくこらぼ村」。ここから新たなつながりや交流も生まれています。

12年目となる2026年は、能登川コミュニティセンターを会場に約二千六百人もの方が集まり、交流を深めました。

そこから編集委員会からもブースを出展し、今まで撮り溜めた美しい写真をパネルにして展示。東近江の「すきなところ」を付箋に書いてくれた来場者には、まちの魅力が詰め込まれた特製しおりをプレゼントしました。

「わくわくこらぼ村」は、毎年早春に開催しています。ぜひ会場にお越しください。



↓特製しおり



# Poppy Bagel

元スポーツインストラクターの大山さん。お気に入りのパン屋さんのベーグルを自分でも作ってみたい!と袋に書いてある原材料を見て、独学でベーグルを作り続け、やっと理想のベーグルを完成させました。奥さんの勧めではじめたお店は、ベーグルが苦手だったお客さんもリピーターになるほどの人気店になりました。

いろいろな種類を楽しめるようにあえて小さめのサイズにしてあります。ぜひお気に入りの味を見つけてみてください。



左端のはちみつ紅茶はお店のベーグル総選挙で1位を獲得!

ホビーベーグル  
**Poppy Bagel**  
八日市本町 6-9  
☎ 090-6235-4659  
9:00 ~ 15:00  
木~月曜営業  
@poppybagel\_09

**question**  
東近江のおすすめはどこ?  
irodoriさんのパン  
よく買いに行きます  
すずかけっこさん(つどいの広場)  
娘や他のこどもたちの  
遊んでいる姿を見るのが好き



## ごはんとおやつ SOU

上麻生町 19  
☎ 0748-26-9465  
11:00 ~ 16:00 木~日曜営業  
テイクアウト・火~日曜(予約制)  
@gohaoya\_sou

お店を始めるために県外から移住してきた野村さん。実家に帰ってきたような懐かしい空間の古民家で、月替わりのごはんとおやつがいただけます。畳の部屋は小さい子も「ごろん」とできるので、赤ちゃん連れでも安心。

卵なしの「おとうふドーナツ」はころんと小さなサイズでついつい何度も手がのびてしまいます。卵・乳製品・小麦を使っていない豆乳プリンは、もっちりプルルン♪日替わりケーキも大人気です。

## ごはんとおやつ SOU



**question**  
東近江のおすすめはどこ?  
上麻生町のハス池  
夏場とてもキレイ



おすすめはおとうふドーナツと豆乳プリン (p13)  
こちらはテイクアウト用のおとうふドーナツ

### question

東近江のおすすめはどこ?

太郎坊さん  
少し運動不足を感じたとき、スタッフと一緒にウォーキングがでらお参りへ。心も体もずっとなお軽くなる、気持ちのいいひとときです。



おすすめは八南たまごプリン  
(八日市南高校とのコラボ)

## かなめカフェ

八日市町 4-3  
☎ 050-3567-0003  
11:00 ~ 17:00  
月、火曜定休(祝営業)  
@kaname77cafe

# かなめカフェ

「食に携わる仕事でたくさんのこどもたちを笑顔にしたい!」と、創業者の1人である嶋岡さんがかなめカフェをオープン。地元農家の果物を使用したり、地元の高校生とコラボして新しいアイスを生み出したり、食材と地域・人をつなぐアイスクリーム作りをされています。

「おいしさは味だけでなく、誰がつくったという情報を知るとよりおいしくなる。誰と食べるかも大切ですね」と嶋岡さん。アイスを通じてこどもたちの成長につながる取組をしたいと日々励んでおられます。

地元の農園とのコラボも



### question

東近江のおすすめはどこ?

五個荘中央公園  
夏の水遊びが気持ちいい  
瓦屋禅寺  
紅葉のライトアップに感動!

## cocci ドーナツ

五個荘北町屋町 212-1  
☎ 080-6160-7731  
10:00 ~ 18:00  
火~日曜営業  
※イベント出店による不定休あり  
@cielo\_cocci

おすすめのプレーンは注文してから揚げてもらえます!

立岡夫妻がつくるドーナツは、米粉と五個荘川並町の豆腐店「豆光」の豆腐が生地の半分以上を占め、口に入れるとやさしい甘さがふんわり広がります。

卵・乳製品不使用で、アレルギーのこどもも家族と一緒に食べられるのも嬉しいポイント。キッズスペースがある店内では、豆乳入りのスムージーを飲みながらゆったり過ごすのもおすすめ。「親子で気軽に立ち寄れる居場所になりたい」と今日も美味しいドーナツを作られています。

# COCCI ドーナツ



どのドーナツもやさしい甘さです。キッチンカーでイベントに出店されることもあります。インスタグラムをチェック!

Third Place for children

# 学校でも家でもない 私たちの居場所



## 日本語学習会 なかよし

**東** 近江市福祉センターハー  
トピアの一室で毎週土  
曜日の午後に開催している「日  
本語学習会なかよし」。ブラジ  
ルやベトナムなど外国にルーツ  
のある子どもたちの学びの場  
です。

小学生を対象としており、日  
本語が話せる子、聞き取りはで  
きるけれど話せない子など様々  
な状況の子どもたち5〜10人ほ  
どが参加しています。学習会  
は、日本語指導の講習を受けた  
ボランティアの方を中心に、勉  
強で行き詰まった子どもたち  
に、優しく声をかけながら丁寧  
に教えておられます。就学前か  
らここに通う中で日本語を話せ  
るようになった子もいます。「な  
かよし」歴が長い子どもたちは、  
ボランティアの方とも仲良し

で、まちで見かけた際に「せん  
せいーい！」と声をかけてくれる  
子もいるそう。子どもたちの成  
長する姿にやりがいを感じ、20  
年以上ボランティアを続けてい  
る方もおられます。

勉強したあとの交流の時間で  
は、大人とも楽しく遊ぶ様子が  
見られ、子ども同士はもちろん、  
信頼できる大人とのつながりの  
場にもなっています。普段の学  
校生活では、日本語が飛び交う  
環境で緊張しながら過ごしてい  
る子も、ここでは主に日本語を  
話しながらも、時には母語で友  
達と会話をし、ありのままの自  
分で楽しく時間を過ごしていま  
す。子どもたちの眩しい笑顔か  
ら、ここがただの勉強の場では  
なく、大切な居場所になってい  
ることが感じられました。

**御** 代参街道沿いにある地域  
の皆さんの活動拠点、中  
野ヴィレッジハウス。扉を開け  
ると、この日は、学校をお休み  
している子どもたちと、その  
家族がほっと一息つける場所  
「きゆるあ」が開かれています  
た。「きゆるあ」は自分の「好き  
」を開放できる場所。近所の人と  
ボードゲームを楽しんだり、料  
理を作ったり、みんなでアートの  
展に取り組んだり、その時そ  
の時のこどもたちのニーズに合  
わせて行っています。

もらいながら続けてこられたと  
話す山本さん。子どもたちの中  
には、高校生になっても会いに  
来てくれる子もいるようで、信  
頼されていることが伺えます。  
取材に伺った日は、ボードゲー  
ムを楽しんでおられ、参加され  
ていた大人の方は、普段の悩み  
を忘れられて良い気晴らしに  
なっているとおっしゃっていま  
した。



## きゆるあ



↑ボードゲームと  
ワークショップの様子

### question 東近江のおすすめはどこ？

中野地区ボランティアセンター 老若男女誰もが  
ゆっくりしたい時、相談事がある時集える場所です。  
とっても優しい場所ですよ。

きゆるあ  
hour\_house\_curua  
※詳しくはInstagramをご覧ください

日本語学習会 なかよし  
今崎町21-1(東近江市福祉センター ハートピア)  
☎ 0748-24-5672(東近江市生涯学習課)

# FIKA

フィーカ



中学生の思いが形に

## みんなで作った みんなのカフェ

愛東地域には、小学校が2つ、中学校が1つあり、どの学年も1クラス編成。つまり、クラス替えがありません。それが高校に進学すると、いきなりクラスの人数が増え、その結果人見知りをしたり、うまくコミュニケーションが取れなかったりで、環境の変化への対応が難しいことがあります。

そこで令和4年度の『中学生議会』で、愛東中学校の当時2年生だった女の子が、ある提案をしました。

「気軽に世代交流できる場所を作ることにについて」

この提案は、村山さん、松吉さん、横田さんの仲良し3人が考え、村山鈴音さんが代表で提案したものです。

中学生の間に、何とかいろん

な人と話せる場所はないだろう  
か、ないのなら自分たちで作れば  
いい！そう考えて出したのが、  
この提案でしたが、その場  
では実現に至りませんでした。

やっぱり難しいのかな？ と  
諦めていた頃、「1回やってみ  
ない？」と『愛東くらしの会議』  
の楠神くすのまわらさんから提案がありま  
した。

やりたい気持ちは大きかった  
ものの、当時3人は受験を控え  
た中学3年生。そこで何度も相  
談した結果、受験を最優先にし、  
高校1年生から学生カフェをス  
タートをさせることに。そして、  
3人が卒業する直前の3月、一  
緒に活動するメンバーを募集し  
ました。全校生徒の前でプレゼ  
ンを行い、7人のメンバーが集  
まりました。全員で10人。

愛東地区の中高生によるカ  
フェ、「学生カフェFIKA」  
の誕生です。

### FIKAの約束

- 1 自分たちで決める  
「いつ、何を、どのようにやるのか」は、全部自分たちで決めます。大人は手を出しません。
- 2 自分たちで動く  
決めたことを周りの大人に伝え、理解してもらいます。必要なものは自分たちで揃えます。

楠神さんは、彼女たちから「自分たちが主体的に考え、幅広い年齢層の人たちが集まるコミュニティベースを作りたい。ただし、大人がレールを引くなら、やらない」そう、はっきりと伝えられたと笑います。そして、

その強い気持ちがあったからこそ、今があるのだと話されました。

いよいよ本格的な活動開始！

しかしすべてが順調というわけではありませんでした。学校との調整、学業との両立……いろいろな壁にぶつかるたび、みんなで話し合いました。「できるだけ愛東産のものを使いたい」。思いはあっても、どれくらいの量をどのように用意すればいいのかわかりません。困った時は楠神さんをはじめとする『愛東くらしの会議』の皆さんや、アイマートにあるヘルス&ワーク倶楽部の利用者の皆さんに相談しました。材料は愛東地区の農家から提供いただいたり、購入したり。メニューボードは、愛東地区にある廣田木材から格安で購入し、自分たちでペイントし

### これまでに作ったメニュー

- [プレオープン]  
カレー
- [夏まつり]  
マフィン  
フルーツポンチ
- [そのほか]  
流しそうめん  
ハンバーガー  
うどん  
かき氷 など





### 【中3のメンバーの想い】

先輩が、終業式の時にやったプレゼンを見て、やってみたいと思って入りました。カフェは、女の子の憧れで、料理も好きで面白そうだと思ってやってみたら、まさかこんなに大変だとは思わなかったし、指もいっぱい切りました。でも、人が来てくれるように工夫して、その結果たくさんの方が来てくれるのを見ると嬉しいし、何より賄いが楽しみです!!もっと多くの人に広めたいと思います。

### 【高校生の想い】

はじめは、私たちの力でどこまでできるか、継続できるのか、とても不安でした。しかし、今こうして活動を2年間続けてきて「学生でも地域のためにできることがあるんだ」と知ることが出来ました。また、それは、協力・サポートして下さる大人の方々のおかげでもあるので、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから大学生になったら、今と全く同じかわりにはできないかもしれない。けれど、私たちが周りの大人の人たちにしてもらったサポートを、今度は私たちがやりたい。例えば、車を出して買い出しについて行く。例えば、一緒に考える。そんなふうにかかわることで、FIKAがずっと続いていけばいいと思う。



「fika」とはスウェーデン語で、コーヒーを飲みながら同僚や家族とほっとする時間のこと。地域の人が、世代を問わず集まり、笑顔でホッと一息つける場所を作りたい。彼女たちの願いが形となった「学生カフェ F I K A」は、これからもみんなの大切な居場所であり続けます。

ドキドキしながら開店すると、そこには、知っている顔、知らない顔、いろんな人が来てくれていて、みんなを笑顔で待っていてくれたそうです。

そして迎えた令和6年5月11日。プレオープンの日です。

「学生カフェ F I K A」は令和7年1月現在、  
中学生 10人 高校生 4人あわせて 14人で活動中!  
それぞれの想いをたずねました。

### 【中1のメンバーの想い】

小学生のころからボランティアに興味があって、中学生になったら絶対やろうと思っていた。実際に参加すると、想像以上にやる事があって驚いた。でも、それは嬉しい驚きで、色んな所に行けたり、お客さんに配膳して「ありがとう」と言って喜んでくれたりするとすごく嬉しい!野菜を切ること、朝起きるのが苦手なところもあるけど、みんなが気軽に来られる場所づくりが出来たら嬉しいなと思います。



↑メニューボード



### 学生カフェ F I K A (フィーカ)

妹町29 (愛東福祉センターじゅぴあ)

[gakuseicafe\\_fika](https://www.instagram.com/gakuseicafe_fika)

毎月1回、土曜または日曜日に開催  
←詳しくは、Instagramでお知らせしています。

推し!

**キンプリ、なにわ男子推し!**  
ファンクラブにも入っています。

のだみさん  
(高校3年生)



大人に一言!

これから社会人として社会に出ますが、残業が多いかもとちょっと不安。働きやすい環境になるといいなあ。

りょーちさん  
(高校3年生)

推し!

**男子バレー推し!**  
バレーをやっていたこともあって面白くてハマりました。

大人に一言!

時給(給料)が上がるともっと働きやすく、生活しやすくなると思います。

推し!

**フュージョンバンド推し!**  
ナニワエクスプレスが好きです。

いっちゃん  
(高校3年生)



なのちゃん  
(高校3年生)

大人に一言!

スマホばかり見てないで、顔を上げて歩こうよ。

推し!

**洋楽推し!** サブリナ・カーペンター、アリアナ・グランデが好きです。

大人に一言!

18歳になって選挙に行っただけ、政策が分かりにくい。若者に政策を伝えてくれる場があるといいな。

推し!

**筋トレ推し!**  
大学生になったらジムでアルバイトするのもいいな。

ごりさん  
(高校3年生)



にしさん  
(高校3年生)

大人に一言!

税がちょっと上がるくらいでゴタゴタ言わず、将来のために大局観で考えてほしい。

推し!

**お城推し!**  
有名な城以外に、山城なども好きです。

大人に一言!

昔、八日市は栄えていて…というような昔話はほどほどに。10代のぼくたちが集まれるような場所もほしい。

推し!

**中島健人推し!**  
日々の癒しです。

はぐさん  
(高校3年生)



まいさん  
(高校3年生)

大人に一言!

地元のバスの本数が少ないのでもう少し増えればなあ。あと、駅前に勉強できるスペースがほしい!

推し!

**なにわ男子推し!**  
TikTokで好きになりました。

大人に一言!

お父さんとお母さんが仲良いのが子どもにとって一番の幸せです。

街で出会った若者に

# 突撃インタビュー!

今の10代・20代の若者は、インターネットやSNSが普及した環境で育った「Z世代」や「<sup>アルファ</sup>a世代」と呼ばれています。

『そこら』の読者の皆さんの中にも、「今の若者が何に関心があり、どんなことを考えているのかいまいち分からない」「家にその世代の子どもがいるけど、あまり会話もないし…」という方がいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで今回、まちの高校生にインタビューして何に関心があるのか、どんなことを考えているのかりサーチしました。

推し!

**たくさん寝ることを大切にしています!**

大人に一言!

キッチリすぎているように感じます。自由すぎるのも良くないけど、もっとゆとりがあれば。

やまさん  
(高校2年生)



今度一緒にライブに行きます!

推し!

**音楽を聞くことが好きで、いろいろなジャンルの音楽を聞きます!**

大人に一言!

もうちょっと自分たちの世代に対して優しくしてほしいな。

推し!

**なにわ男子 大西流星くん推し!**

大人に一言!

メイクについて、バスなどで知らない人から「最近の若者は…」って言われることがあるけど、何も迷惑かけてないのでほっとしてほしい!

ゆーさん  
(高校2年生)



推し!

**なにわ男子 大橋和也くん推し!**

大人に一言!

学校のルールでよく分からないものがある。(ネイル、ピアス、上着のルールや髪の毛をくる基準など)これから入学する人が過ごしやすい学校になったらいいな。

あーさん  
(高校2年生)

スポーツを通して  
じゅうにんという  
**十人十色の**  
喜び・幸せを



ジューヨン アカデミー  
**JYUYON 14 ACADEMY**の挑戦

JYUYON 14 ACADEMY (以下14アカデミー)は、誰もが自分らしく過ごせる『居場所』をつくることを理念に掲げ、スポーツスクール事業や障がいのある子どもたちを対象とした福祉事業を展開しています。今回はそれぞれの活動の中心を担う、**國領一平さん**と**高橋平さん**にお話を伺いました。

技術を磨くだけでなく、  
人としての成長を支える  
代表 **國領一平さん**

「生きる力」を育てる  
サッカースクール

國領さんは、東近江市出身の元Jリーガー。コロナ禍でサッカーの場が失われる中、「自分に今できることは何か」と自問したことが、スクール設立のきっかけとなっています。

このスクールの特徴は、サッカーの技術だけでなく、「生きる力」を育てることに重きを置いていること。スポーツを通じて得られる思考力や判断力、そして困難に立ち向かう力は、将来、社会に出たときに大きな力になると國領さんは考えています。

「遊び」で育つカー放課後児童クラブ「じゃんぶステージ」

ほかにも、國領さんは放課後児童クラブの運営もされています。外遊びの機会が減り、子どもたちの基礎的な身体能力が育ちにくくなることで、スポーツ中のケガが増えていると國領さんは指摘します。中にはケガが原因で、スポーツを楽しくないと思う子どももいます。そこで新たに始めたのが、放課後児童クラブ「じゃんぶステージ」

誰もがスポーツを楽しめる  
社会を目指して  
福祉部門責任者 **高橋平さん**

「東近江FCレジリエンス」は2020年に発足。現在は園児から高校生まで約40名が在籍し、愛東北小学校の体育館などで活動されています。

代表の高橋さんは、発達障がいなどの特性が指導者から十分に理解されなかったり、チームの中で疎外感を感じることが原因で、スポーツをあきらめざるを得ない子どもやその保護者を見て、このクラブを立ち上げました。活動では「見守ること」を大切にしています。例えば、その日の活動内容をホワイトボードに書き、指示を待つのではなく自分で見て行動ができるように工夫するなど、一人ひとりが自立して動ける環境づくりを心がけています。

です。コンセプトは、「スポーツって楽しい!」と思える居場所づくり。倉庫をリフォームした施設では、ボルダリングやロープ遊びを通して、遊びの中で自然と身体能力が育まれる環境が整えられています。

「やる・やらない」を  
自分で決められる居場所を

國領さんが大切にしているのは、「子どもが自分で何をするかを選ぶ環境」をつくること。選択肢を用意した上で、子どもたちが安心して自由に挑戦できるよう、丁寧にサポートしていきたいと考えています。



右上/つな引き  
右下/走るのが楽しい  
左/ケンカの仲裁  
(高橋さんと  
子どもたち)

**東近江FCレジリエンス** 誰もがスポーツを楽しめる社会を目指して

## 新たな居場所づくり

日本障害者サッカー連盟が統括する障がい者サッカーの7競技団体は、視覚障がいや知的障がいに対象にも関わらず、発達障がいや自閉症は対象に含まれていないため、それらの障がいを持つことも、大人になったときにサッカーをプレーする場がありません。高橋さんは、生涯にわたりのびのびとプレーができるよう、新たに「関西レインボーリーグ」を創設されました。全国への展開を目指し、交流試合やイベントなど精力的に取り組まれています。

スポーツをする場のほかにも、障がいのある高校生が働ける場所として、愛東地区に地域の人が集う飲食店「14スポーツBAR & CAFE」を開業。障がいのある人が安心して働ける環境づくりも進めています。



## 若者の居場所 OMUSUBI

「若者の居場所 OMUSUBI」の拠点、古民家「ほんなら屋」。若者をひとりにしない「居場所」をつくる活動をされている一般社団法人OMUSUBI代表理事の島村恒平さんにお話を伺いました。

## 「一緒に体を動かせる居場所、自由に体を動かせる居場所」

「みんなと同じことをしなくてもいいところが良い」と保護者の方は言います。取材時、子どもと大人が一緒に笑い合い、自由に楽しく身体を動かしている姿が印象的でした。

みんなにとってかけがえのない居場所である14アカデミー。スポーツを通じ「自分らしく生きる」ことを後押しする活動は、今後さらに広がっていきそうです。



カートで遊ぶ子どもたち

若者は、学校へ通って、卒業したら就職して働くもの」とみなされることが多いため、学校にも行けず、就職もできない、また就職しても自分の居場所がないと感じている若者たちが、日常的に通える場所や公的支援はほとんどないのが現状です。

「学校や仕事をやめてしまうと、多くの若者には行く所がない。相談窓口も広がってきているが月1回だけなど限られていて、そこだけでは足りない。福祉的『支援』は、困りごとがあつて、それを解決するため「階段を上がるイメージ」で行われるので、例えば就労支援の場合、就職出来たら支援はそこで終わってしまう。それに対して『居場所』は、いつでも開いていて、ずっとつな

question 東近江のおすすめはどこ？

高橋 平さん

愛東から見る琵琶湖の景色かな。その景色に惹かれて愛東に家を建てたので！

國領 一平さん

太郎坊宮。学生の頃や現役選手時代にオフなどにトレーニングを兼ねて友人と走って登って。トレーニングのキツさと登った後に市内を見渡せる景色がすごく気持ちよく毎回また頑張ろう、と思わせてくれる場所です。

JYUYON 14 ACADEMY (ジューヨンアカデミー)

<https://jyuyon.com/>  
@jyuyon\_academy



がつていられる」。そんな場所が必要だと考えた島村さんは、ひきこもりの若者や働くのが不安な人、家や職場に安心していられる場所がない人の居場所となる取組みとして「OMUSUBI」を立ち上げました。ここは、10代後半から40代の人なら誰でも歓迎。東近江市を中心に、市の福祉窓口の紹介や、パンフレットで知って「はたらく」活動を目的にやってくる人が多いそう。「働きたい、働かないといけな」という使命感を持つている人がほとんどだが、不安定な状況の中で将来の展望がない若者が多い。そんな人が安心していられる所であり、働きながら趣味を活かしたり特技を発揮できる所にもしたい」と島村さん。

## OMUSUBIの活動

はたららく

まずは、おにぎり屋『あいとうむすび』で「はたららく体験」を。仕事内容も相談しながら自分のペースで通えます。ここで働くことで安心感を得たり、自分だけがダメじゃないと思えるきっかけにも。

みそぶ

気心の知れた人たちと月1回、ゲームやカラオケをしたり。働いているときは別の、いろんな面が見える。もちろん就職してからも参加OK。

かたさ

一緒に働いて関係性ができている人となので話しやすい。同じ悩みを持っている人には相談できる。語り合うなかで、お互いを知る機会にも。



お米は地元・愛東産。沖縄の塩「シママース」など安心な食材を使い、手塩でにぎります。季節によって塩加減も変えて。

OMUSUBIに来ている若者たち

からは、活動しているなかで「ぼろ」と「声」がこぼれてきます。「ひとりである」とつらくなる「相談窓口に行く」と根掘り葉掘り聞かれる「みんなの居場所だけど、ひとりでいたいときもある」。そんな声をきっかけに活動を見直したり、新しい企画を始めたたりされるそうです。生きづらさを抱え込んでいる若者の声を拾えるのは、安心して過ごせ、受け止めてくれる人がいると信頼できる「居場所」だからこそ。

フリースクールも増え、通信制高校などで学ぶこともできるようになってきましたが、その後は……。若者が孤立せず、自分らしく生きる将来を考えられるよう、OMUSUBIのような場所が地域に増えていくことが望まれます。

## はたららく現場 おにぎり屋『あいとうむすび』



手早くパッケージされて、個数確認。各販売所や注文先へ配達されていきました。多いときは？の質問に、「先日、おにぎり400個にお弁当40個という注文をこなした」とのこと。

「おにぎり弁当」には、梅と大葉と天かすおにぎり自家製みそのおにぎり。絶品の鶏のから揚げ、秘訣は衣に入れる「かつおぶし」！？添加物不使用で具材はすべて自家製。梅干しとお味噌は地元のお年寄りに教わって毎年仕込んでいるそうです。安心して美味しいお弁当です。



こんな味も！  
「ノリリアゲアゲ」



働く若者の得意分野を活かした、販売PRのためのイラストシール。女の子と「おにぎり」それぞれ別の人がデザインしたコラボ作品。



### おにぎり食べるよサポーター（寄付）

「若者が『生きていける』と思える場所を地域に広げたい」というOMUSUBIの活動をこんな形で支援できます。



### question

東近江のおすすめはどこ？

河辺いきもの森、図書館がいっぱいあること

「はたららく」  
「みそぶ」  
「かたさ」  
が連動して  
その人の居場所に

若者の居場OMUSUBI @omusubi\_w

### あいとうむすび

☎ 0749-46-2170  
水～土曜日営業  
http://aitomusubi.com  
@aitomusubi

詳細はこちらを  
ご覧下さい！

### あいとうむすびの買える場所

Mitte (東近江市役所内)、i・mart (愛東)  
あいとうマーガレットステーション (愛東)  
丸山薬局 (永源寺)、八百亀 (永源寺)



南須田町 (能登川)



市原野町 (永源寺)



あいどうマーガレット  
ステーション (愛東)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



林町 (能登川)



上岸本町 (愛東)



延命公園 (八日市)



上岸本町 (愛東)



宮川町 (蒲生)



林町 (能登川)



石谷町 (永源寺)



垣見町 (能登川)

あなたのお近くにもあり!? 東近江の

# 公園アニマルみつけた!



五個荘山本町 (五個荘)



五個荘山本町 (五個荘)



池庄町 (湖東)



垣見町 (能登川)



東沖野 (八日市)



あいどうマーガレット  
ステーション (愛東)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



五個荘中央公園 (五個荘)



延命公園 (八日市)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



垣見町 (能登川)



市原野町 (永源寺)



やわらぎの郷公園  
(能登川)



小脇町 (八日市)



ひばり公園 (湖東)

## 喫茶店探訪

in 東近江

懐かしさと新しさが混在し、どこかほっこりできる場所、「喫茶店」。誰かと待ち合わせたり、ひとりの時間を楽しんだり、お店の方と話したり……。そんな東近江の喫茶店をご紹介します。



東近江の元祖レトロ喫茶

## ミスターシーホース



国道421号線沿い、名神八日市インターチェンジの近くにある『ミスターシーホース』がオープンしたのは昭和47年。なんと55年近くもこの地で愛される喫茶店です。腰が曲がった元気なおばあちゃん・川寄郁子さんがウエイトレス、息子の泰彦さんが料理担当です。

入ると、ふわりと春の花の香りが。入口にも店内にも季節の花が飾られています。照明が暗めの店内は少しヨーロッパの雰囲気。しかし訪れた日のBGMの選曲は懐かしの昭和歌謡でした。休日は音楽関係者がライブや練習をすることも。泰彦さんは、「長くここでお店をやってきて、地域の人たちと仲良くしてもらえることが何よりも嬉しい」とのこと。いつまでも続いてほしいお店です。



### ミスターシーホース

林田町 1481  
☎ 0748-22-5943  
10:00 ~ 19:00  
不定休



毎日始まる新しい朝に、いつもと変わらないモーニングを…

## コロンビア



五個荘地区の国道8号線沿いは、純喫茶ブームに沸く昭和50年代、多くの喫茶店が立ち並んでいました。その真つ最中、昭和53年に喫茶店「コロンビア」は誕生しました。

「コロンビア」という名前は、先代の店主と、今も変わらず豆を仕入れている業者さんが相談して決めた名前。「喫茶店らしさ」「他とかぶらない名前」ということで、コーヒー豆の生産地の名前から付けられました。オープンから47年が経つ今は、先代から引き継いだお店を、息子の上田一聖さんとお母さんが、当時と変わらないままに営んでおられます。

「元々生まれ育った場所で、ずっとあるものだから、亡き父の想いを継ぐことが当然だと思った」と一聖さんは話されます。父の代か

ら続けて通うお客様もおられ、コーヒーの淹れ方やメニューを変えずに続けたいという想いの中、時代とともに、価格や原材料など変えざるを得ないこともあり、守り続けることが大変だとか。それでも「毎朝モーニングの時間には、同じ人が同じ時間に来て、同じメニューを注文し、母と会話を楽しんでいる。そんな毎日だからこそ幸せで、このままの形でこれからも長く続けていきたい」と穏やかな笑顔で話されていました。



### コロンビア

五個荘石塚町 306-1  
☎ 0748-48-3946  
7:30 ~ 19:30  
(モーニングは11:00まで)  
火曜定休、第3水曜日



## AKIRA WOODWORK

木の個性を見つめ、  
人の暮らしに寄り添う



「月を眺める椅子」

こばやし あきら  
小林 朗さん

「ただ月を眺める贅沢な時間を過ごすための椅子っていいな」。足を延ばせるロッキングチェアのアイディアを考えていたとき、きれいな月が夜空に浮かんでいるのを見て、そう思い浮かんだ小林さん。出来上がった椅子は、少し浅めに座り、ゆっくりともたれかかると、自然に顔が空を向き、夜空を眺めやすい角度で止まります。不思議なことにこの椅子のデザインは一度で決まったそうで、座面やひじ掛けの大きさや形を変えると、とたんに椅子のバランスが崩れてしまうとのこと。まさに、月に導かれ生まれたデザインなのかもしれません。

### AKIRA WOODWORK

山上町3720-2  
☎ 080-5706-6611  
e-mail kobaakira5884@ezweb.ne.jp

**question** 東近江のおすすめはどこ？

太郎坊さん 自然と人とのかかわりが感じられる特別な場所だから。

## おとうと 音雨音木工所

“余白”のあるデザインに  
魅力を感じます



「ライティングビューロー」

やっと『そくら』に  
出られました！

たけうち てつべい  
竹内 鉄平さん

山の木を活かしたオーダーメイド家具を製作している竹内さん。以前は大阪の木工所に勤めていましたが、「豊かな自然の中で、自分が良いと思うものを選ぶ暮らしがいい」と考え2016年に地域おこし協力隊として東近江市に移住しました。その後、農業に従事する中で、山の荒廃が農地にも影響することを実感。山を守るため、山の木を活かした家具を作りたいと、2019年に「音雨音木工所」を設立しました。現在はお客様一人ひとりに寄り添う家具を提案しながら、山や人とつながり、自然と季節のめぐりの中で家具を作っておられます。

### おとうと 音雨音木工所

妹町959  
☎ 080-3801-3703  
e-mail dognose-all@e-omi.ne.jp

**question** 東近江のおすすめはどこ？

角井峠の入り口のあたり 琵琶湖の方まで視線が通って見晴らしがよく、景色がきれいなので好きです。

## 家具工房 UNOKA

“シンプル”に、遊び心と  
スパイスをちょっと加えて



「鍵付きのチェスト」

かのう ひさし  
加納 久さん

すらりとしたフォルムが美しいウォールナットのチェストには、こだわりの工夫が。上部にあるダイヤルロックキーを解錠すると、引き出しのストッパーになっている木材の羽根が開く目にも楽しい仕掛けが施されています。また、引き出しは重いものを入れてもなめらかに開くことができるよう、緻密に計算されており、職人としての加納さんの技術の高さがうかがえます。大切な書類やお気に入りの文具の保管にいかがでしょうか？ほかに食器や椅子などを製作しています。大切にしているのは、何年たっても使える形・デザインであること。長く使ってもらえるよう、完成までには幾度も試作を重ねます。

### 家具工房UNOKA

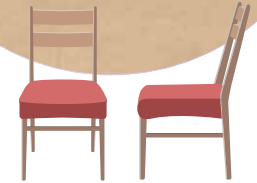
今町478-2  
☎ 0748-43-2801  
e-mail info@unoka.jp

**question** 東近江のおすすめはどこ？

能登川図書館 今まで住んだ町の中で、一番満足できる図書館です！

My favorite furniture

とっておきの  
家具を  
探しに



面積の50%以上を森林が占める  
緑豊かな東近江市には、  
腕利きの家具職人や木工作家が  
数多く活躍しておられます。  
彼らの手で一つ一つ心を込めて  
生み出された家具を身近に置いて、  
木のぬくもりを感じてみませんか？



「三角スツール」  
家具工房  
UNOKA

お気に入りの  
**椅子**が  
よみがえるまで

八日市金屋通りを東に出たところに建つ、レトロで趣のある外観の『小杉椅子張店』。一体どんなお店なんだろうと、気になっている方も多いのでは。ここでは椅子の座面の張り替えを行うお店。編集員の椅子を持ち込み、店主の小杉さんに匠の技を見せていただきました。



座面がボロボロになった古い揺り椅子。



まずは、座面を外します。



好みの固さのクッションを選んで、椅子の形に沿って切り抜きます。



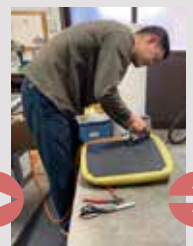
接着剤で座面に貼りつけ、乾かします。



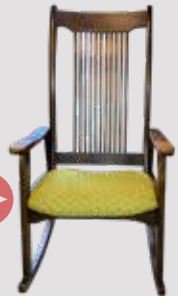
さらにクッションを重ねます。



選んだ布を、座面に貼り付けます。



裏側も、丁寧に処理をして、元に戻し……。



**完成!**

まるで別の椅子のように、ガラリと印象が変わりました。座面もふかかです!

**小杉椅子張店**

こすぎ こうたろう  
**小杉 光太郎さん**



勤めていた家具工場で椅子張の仕事に出会った小杉さん。京都の椅子張職人のもと6年間の修行を終え、2018年に独立して現在のお店を開店。店舗の椅子の張り替えなど、需要は多いのですが、椅子張職人は県内には数人しかおらず高齢化も進み、小杉さんは中堅の貴重な職人です。「引っ張るといよりは、寄せていく感じで…」と手のひらで座面の生地をそっとなで、複雑な形や張り具合(柔らかさ)、模様の見え方を何度も確認しながらの作業は、やさしいお人柄が現れる丁寧な仕事ぶり。椅子は人にとって一番身近な家具。見た目の美しさはもちろん、座り心地や安全にも細心の注意を払って作業されていました。

**小杉椅子張店**

八日市上之町6-18 ☎ 090-5881-8037  
9時~18時 不定休

**question**

東近江のおすすめはどこ？

能登川水車とカヌーランド 最近小型のボートに乗り始めました。ここで子どもと一緒に楽しんでいます。



「キャビネット」  
音雨音木工所



「イチョウの作業机」



こくぶ よしたか  
**國分 良高さん**

「節があったり、木目がそろってなかったりする木を使って、良い家具を作りたい」。作業台として愛用している机は、そんな思いから生まれました。木材チップにするために出荷されようとしていたイチョウの木を引き取り、木の皮を生かした天板に。長年使用していますが、反ったりゆがんだりすることはありません。展示台として使うときには、上手く作品を引き立ててくれます。

民芸やシェーカー家具のようなものづくりが理想で、暮らして地域に根差したものをつくり続けていきたいと、笑顔で話されていました。

**國分 良高**

佐目町1274-20  
☎ 080-6944-4459  
e-mail finderwoodworks@gmail.com

**question**

東近江のおすすめはどこ？

風野工房ギャラリー えんらいあん 燕来庵 ギャラリー  
一でのおしゃべりや流れる時間がとても心地良いです。



「月を眺める椅子」  
AKIRA WOODWORK



「椅子」  
國分 良高



太郎坊宮こと阿賀神社は、勝利と幸福を授ける神様が祀られています



# 太郎坊チャレンジ に挑戦!!

「太郎坊チャレンジ」とは？  
2024年に続き2回目の開催となる、太郎坊宮の参道中腹までの379段の石段を登る速さを競うレース。一般・シニア・小学生低、高学年・中学生の部の他、チームの合計タイムを競う部門や、今年は愛犬と参加できる部門も新設されました。  
HP <https://tarobo-challenge.com>

太郎坊宮の急な石段379段を全速力で駆け上がるレース「太郎坊チャレンジ2025」。この過酷なレースに挑戦する小学生がいると聞き、その練習の様子を訪ねました。スタート地点である表参道の鳥居の下で待っていたのは、はにかむような笑顔の福井光くん、小学2年生。サッカーのトレーニングで毎週走っていて、運動が大好きだそう。去年、お父さんに誘われて出場した

10月12日、本番当日。小学生低学年男子の部は18人が出場し、3人ずつスタートします。光くんの出番は6走目。お母さんとお兄ちゃんが見守る中、いよいよ光くんの順番がやってきました。スタートの合図とともに、光くんは先頭を切って走り

始め、あつという間に後ろ姿が見えなくなりまます。本番直前のインタビューでは「今年の目標は2分を切ることです！」と意気込んでいました。結果は、2分7秒で部門7位！去年より、40秒近く早い記録にビックリ!!レース後、お父さんと一緒に

第1回太郎坊チャレンジでは2分41秒と大奮闘しました。(小学校高学年でも2分を切るのが難しいレースです!) 今年も、去年を上回る記録を目指しています。練習では、手前113段を何度か往復し、最後、本番の段数を一気に駆け上がっていました。小学生低学年の部は保護者伴走が必須のため、本番は、お父さんも光くんの後ろを走りながら応援します。

石段を下りてきた光くん。力を出し切り足は筋肉痛で震えていました。が、なんとも満足げな表情。次の目標をたずねると、「来年も出る。目標は1分半!」と力強く話してくれました。さらなる成長をとげた光くんの1年後が、今から楽しみです。



レース後、参加賞のお守りを手に



本番前にお父さんとウォーミングアップ!



参加賞の「オリジナル勝ち守り」



ホラ貝の音を合図にイベントがスタート



足の震えは頑張った証!



レースに参加するワンちゃんがたくさん!



お兄ちゃんも兄に会ってきました



本番前に意気込みを



スタートもハッピー!



お父さんの拓也さん、お母さんの優子さんと一緒に



石段の後半は体力との勝負。手すりも使って登ります

question  
東近江のおすすめはどこ?  
近江鉄道と琵琶湖  
家から見える、田んぼを走る近江  
鉄道を見るのが好き。

# かんぼうかん 観峰館 ってどんなところ？



みなさん、五個荘竜田町にある博物館「観峰館」をご存知でしょうか。五個荘の国道8号線沿いに突如目立つ建物が……。建物の中に入ると、そこには興味深い作品がたくさん展示されていました。



## なぜ五個荘に「観峰館」が建てられたのでしょうか？

大正時代から続いた「淡海女子専門学校」の跡地を引き継ぎ、日本習字を学ぶ「淡海書道文化専門学校」が昭和60年に設立。そして隣接する土地に博物館が建てられることになりました。現在も観峰館別館にある「淡海書道文化専門学校」では、国内外からのたくさんの学生が書道について学んでいます。

原田観峰記念室



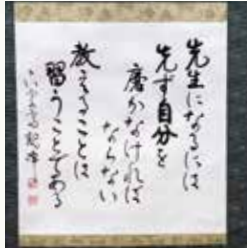
石碑がすらり



装飾がかわいい衝立



素敵なクラシックカー



奥へ進むと清朝皇帝の離宮「避暑山荘」の内部を再現した展示室が。豪華絢爛な内部は圧巻です。奥の扉を抜

取材の日は開館30周年特別企画展を開催中。特別展示室では書聖・王羲之の書風を伝える国宝「孔侍中帖」が展示されており、海外からの来館者もおられました。

1960年代、中国との国交正常化前に中国各地をまわって書道を中心とした文化交流を行う中で、観峰さんが収集されたものをメインに展示されておられ、外観も「中国風」で存在感があります。

観峰館は、日本を代表する書道家の原田観峰さんが「若い人たちに本物に触れてほしい。書道を通して技術だけでなく、精神面も育てたい」と1995年に開館しました。



かんぼう 原田観峰さん (1911-95)



趣のある中庭

↓「避暑山荘」の中心的な建物である澹泊敬誠殿の内部を忠実に再現



**観峰館**  
五個荘竜田町 136  
☎ 0748-48-4141  
9:30～16:00  
(入館は15:30まで)  
月曜休館 (祝日の場合は翌日)  
@kampo\_museum

がおすすめです。

けると大きな石碑が。原寸大の石碑は、拓本（石碑などに紙をあて、墨を使ってそこに刻んである文字を写しとる）体験にも使われています。さらに進むと、書道関連の展示物だけでなく、観峰さんが収集したクラシックカーやアンティークオルゴールまで様々なものが置かれていきます。東洋から欧米まで幅広いそのコレクションに驚かされます。



観峰さんの優しさが伝わる書とことば



# Deep 沖野を巡る

地域の人たちが集える居場所、昔ながらのお店と新しいお店、歴史を語るゆかりの地、そこにしかない素敵な風景……。南部地区から玉緒地区にかけてまたがる沖野は、それらがぎゅっとつまったディーブなところ。秋晴れの午後、編集員が自転車でふらりと巡ってみました。

地域の人に支えられる八日市南小「子ども森」

2010年に八日市南小学校が沖野三丁目に移転したとき、地域の人々によって憩いの場が作られました。小学校の敷地に沿った緑あふれる『子ども森』はたくさん種類の樹木や野の花で本当に小さな森のよう。毎月第2水曜日に定例の作業日として住民による手入れが行われています。平日は、近くにある幼稚園の送り迎えの親子や学童保育所の子どもたちが遊び、秋には子ども森に設置されたかまどベンチで焼き芋大会が開催されます。



木には鳥の巣箱が

あずま屋。訪れた日は、紅葉が美しく色々な種類のどんぐりが落ちていました



## よかもんショップ

ひばり通りを進むと、かわいいイラストの看板が目に入ります。キノコ専門店『よかもんショップ』です。売られている多くのキノコは、お店の奥で栽培されていて、産地直結で新鮮なもの。

このお店を運営しているのは、道向かいにある精密機器の検査や一部加工をしている共栄精密株式会社。そのきっかけは、リーマンショックで会社の熊本工場が閉鎖の危機になったことでした。「なんとか工場で働く人を守りたい」とできることを探しているときに、「キクラゲを特産品にしたい」と工場のある熊本の自治体から声がかかります。それを受けて、「年間を通して仕事があり、本業の品質管理のノウハウが活か

る」、「働く人も守れて、地元の街の活性化にもつながる」と、輸入がほとんどを占めていたキクラゲ栽培に挑戦することになったのです。今ではネット通販だけでなく、東京のデパートでも定番商品として取り扱われるほどに。

そこで培った技術が沖野に里帰りして『よかもんショップ』が誕生しました。新鮮でおいしいだけでなく、安心安全なものを食べてもらいたいと、キノコが育つ菌床も間伐材等が使用されたオガを仕入れ、自社で生産するこだわりの一品。「三方よし」の産直キノコをぜひご賞味あれ。

## よかもんショップ

沖野 3-9-4  
☎ 0748-22-3139  
平日 9:30 ~ 17:30  
土・祝 10:00 ~ 16:00  
日・月曜定休  
📍 yokamon.kikurage

店内の様子



栽培中のキクラゲ



きのこの妖精 よかもん



看板のよかもんが目印です！

## 沖野の変遷

金屋・中野・今崎・芝原にまたがる原野だった

↓ 大正4年(1915) 日本初の民間飛行場として整備

↓ 大正9年(1920) 陸軍軍用飛行場として整備

↓ 昭和20年(1945) 第二次世界大戦終戦、八日市飛行場廃止

↓ 昭和33年(1958) に沖野町が新設  
(外・野村・妙法寺・芝原・柴原南・下二俣・尻無各町の一部)

↓ 昭和55年(1980) に沖野1丁目~5丁目、  
東沖野1丁目~5丁目などに町名変更

『八日市市史第四巻』、『翦風号が空を飛んだ日』(中島伸男・著)より



八日市飛行場があった場所(昭和20年頃)



かつて飛行場があった地

沖野には、戦前・戦中と八日市飛行場がありました。『陸軍八日市飛行場 戦後70年の証言』(中島伸男・著)によると、大正時代に民間飛行場として設立され、その後、軍用飛行場となり戦中は近畿でも有数の規模を誇りました。そして飛行場は周辺の村の田畑をのみ込みながら拡大します。しかし、終戦によりその姿は忽然と消えたのでした。

戦後は再び住民に払い下げられ、用地は畑に戻されました。そして現在は住宅や工場が立ち並ぶ地域となっています。かつて「沖野ヶ原」と呼ばれたこの地はこの100年のうちに大きな変貌を遂げたのです。しかしそのことを知っている人も今は少なくなりました。かつてここから戦地に飛び立った飛行機があったことを忘れてはならないのではないのでしょうか。



『陸軍八日市飛行場 戦後70年の証言』  
中島伸男・著(サンライズ出版)

沖原神社境内に移築された  
八日市飛行場衛門の門柱



# Deep 沖野 を巡るmap

こんなにあるよ! もっとあるよ!



南部コミセン横のコンテナハウス。  
毎週火曜 open。自由におしゃべりしたり、  
手作りしたり、やりたいことができる場所



箸袋には江州音頭が!  
地元ならではの粋な計らい



50年以上続く美味しくて居心地のよい料理屋さん。「ちよい飲みセット」(飲み物、つきだし、刺身 or 串揚げ) がおすすめ



たぬき  
天ぷらもそばも  
美味しい!

パロー

昭和な香りの喫茶店  
(喫煙可)

ミル

みたらしだんごが  
メニューにあります!  
(喫煙可)



札の辻

八日市飛行場の正門跡を示す石碑

ローソン 421

札の辻東



みんなの居場所  
コンピス  
(南部コミセン)

ひばり通り



つつじの花壇がつづくまっすぐの道。  
正面に太郎坊が見えます

地域の人が集う喫茶店  
(喫煙可)



ひさご

きんでん

ウェルシア



暖炉・薪ストーブ専門店。北欧のパー  
ベキューハウスやサウナハウスも! ゆれ  
る炎を見ていると心が安らぎます。



お惣菜の自販機が!  
トヨタ

薪火石窯パン工房  
アウビング

緑あふれる地域の憩いの場。  
地元の方が毎月手入れをされています



MAX WOOD

沖原神社



八日市飛行場の隊員の安全と、飛  
行機の守護として建立された神社。  
現在は地域の住民のお宮さん。

きのこの妖精「よかもん」の  
看板が目印★新鮮でおいしい  
産直キ/コを買えます

キ/コ専門店  
よかもんショップ



船木果樹園

いちごの季節には  
直売所があります!

南子ども森  
(八日市南小学校)

ひまわり幼稚園



自転車ロード



田んぼの向こうに  
見える夕日が美しい...



沖野通り



Friggのお披露目会



あいとういちごを知ってもらうための冊子も作成



### フロラ フェメンテーション

2022年に山上町に誕生した、東近江市初のブルワリー。自社農園でホップを育て、近江米を使ったクラフトビールを醸造しており、その土地の植物や微生物を使って、最高のビールを醸すことを理念に活動されています。  
(ただし Frigg には自社ホップは使用されていません)  
写真左から 田中翔太さん、大西康平さん、清水ノイバウアー カイさん

Frigg についての情報、問合せはこちらから  
florafermentation  
<http://https://florafermentation.com/>

神の名前です。その名を冠するこのクラフトビールは、豊潤ないちごの香りがし、普通のビールにはない優しさも感じますが、しっかりとビールの苦みもあり、優しいだけが愛ではなく、厳しさもまた愛であるということを暗に表現されているように感じます。  
12月。今年もいちごの季節が始まりました。数量限定ではありますが、「Frigg」を醸造されるそう。春にはフレッシュなあいとういちごをとじこめたクラフトビールをお楽しみください。



↑あいとういちごの収穫風景



## あいとういちごが クラフトビールに 恋をした！



愛東地区では、鈴鹿の山から湧き出る美しい水と豊かな大地の恵みで、古くから農業が盛んに行われてきました。なかでも、季節によって様々なフルーツが採れるのが魅力の一つです。そんな愛東地区では、10軒のいちご農家さんがいちごを栽培されています。「あいとういちご」は寒暖差の激しい土地柄により、厳しい寒さを経験することで糖度が増し、例年12月上旬頃から4月の終わり頃まで楽しむことができます。

あいとういちごの収穫量がぐんと増えるのは、収穫の終盤に差し掛かる春の時期。この頃のいちごは甘みは強くなるものの、成長が早くなるためたくさん採れすぎ、行き場をなくしてしまう「子」たちも

あるそう。このいちごを何かに使うことはできないだろうか？と考えた「あいとう直売館いちご部会」の農家さんたちは、愛東支所の職員を通して、永源寺地区にあるクラフトビールの醸造所「FROLA FERMENTATION」さんに相談。そうして、いちご部会と連携して、あいとういちごを使ったクラフトビールの醸造が決まりました。

醸造所でも、初めての試みとなるいちごのビール。どんな色味がいいか、どんな味がいいのか、香りが飛ばないといいな、いちごを感じたい……いろんな話をし、お互いの想いをつなぎ合わせました。そして迎えた2025年初夏に、あいとういちごのクラフトビール「Frigg」が誕生しました。

完成品を初めて飲んだのは、ちょうどいちごの時期が終わり、「ああ、今度の冬まで、もうあいとういちごに会えないのか」と寂しくなっていた頃。ひとくち口に含んだ瞬間、目の前にいちご畑が広がる風景が見えたような気がして「わあ、また会えた！」と胸があたりたくなりました。



# そこら

第 11 号  
2026 年 3 月 31 日発行

編集 / そこら編集委員会  
発行 / NPO法人 まちづくりネット東近江

【編集協力】  
東近江市立図書館

\* Special Thanks \*  
取材に協力いただいた皆様  
垣見直希さん

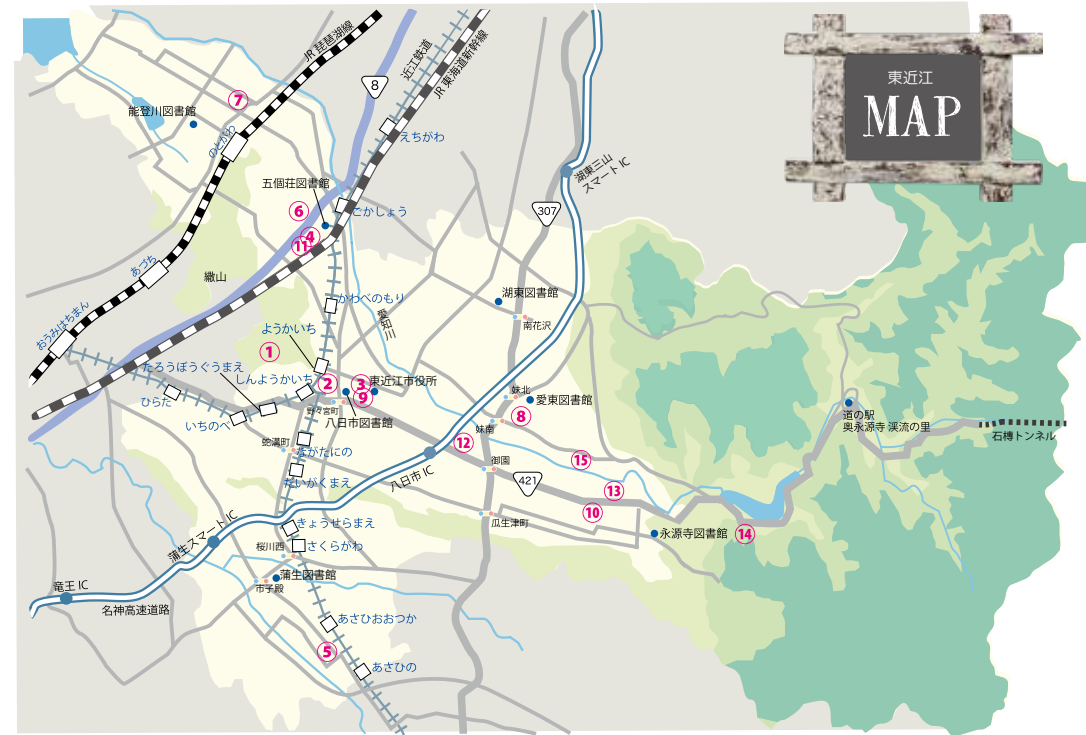
【問合せ】  
NPO法人 まちづくりネット東近江  
〒527-0028 滋賀県東近江市八日市金屋 2-6-25  
☎ 0748-56-1277 FAX・0748-56-1277

東近江市立八日市図書館  
〒527-0028 滋賀県東近江市八日市金屋 2-6-25  
☎ 0748-24-1515 FAX・0748-24-1323

こちらからバックナンバーをお読みいただけます  
<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/lib>



【編集委員】(五十音順)  
大澤 明・金子 友香里・狩野 桃江  
齋藤 民男・嶋村 映利佳・菅澤 合歓・橘 良枝  
谷 佑一郎・塚本 早織・辻 未桜・辻 都  
松浦 純子・森川 美月・森下 瑠美・山梶 瑞穂  
山口 美知子 (編集委員長)



## 紹介させていただいたお店・施設 (順不同)

Instagram アカウント  
☑ = instagram アカウント

- ① 太郎坊宮  
小脇町 2247 ☑ tarobogu.official
- ② Poppy Bagel  
八日市本町 6-9 ☑ poppybagel\_09
- ③ かなめカフェ  
八日市町4-3 ☑ kaname77cafe
- ④ Cocci ドーナツ  
五個荘北町屋町 212-1 ☑ cielo\_cocci
- ⑤ ごはんとおやつ sou  
上麻生町 19 ☑ gohaoya\_sou
- ⑥ 観峰館  
五個荘竜田町 136 ☑ kampo\_museum
- ⑦ UNOKA  
今町 478-2 ☑ unokano
- ⑧ 音雨音木工所  
妹町 959 ☑ sister\_hills
- ⑨ 小杉椅子張店  
八日市上之町 6-18 ☑ kosugi.isu
- ⑩ FLORA FERMENTATION  
山上町 3505-1 ☑ florafermentation

- ⑪ コロンビア  
五個荘石塚町 306-1
- ⑫ ミスターシーホース  
林田町 1481
- ⑬ AKIRA WOODWORK  
山上町 3720-2 ☑ akira\_woodwork
- ⑭ 國分さんの工房  
佐目町 1274-20 ☑ yoshitaka\_kokubu
- ⑮ ほんなら屋 (若者の居場所 OMUSUBI)  
小倉町 1830 ☑ aitomusubi





# そこら

第11号

2026年3月31日 発行

編集 / そこら編集委員会

発行 / NPO法人 まちづくりネット東近江